

特別展  
中国 王朝の至宝

[開催概要](#) | [展覧会内容](#) | [入館料金](#) | [図録](#) | [関連イベント](#)

小 中 大

平成25年2月2日（土）～ 4月7日（日） 56日間

※開館時間：

9時30分から17時30分まで

（入館は17時まで）

土/日曜日は19時まで開館

（入館は18時30分まで）

※休館日：

月曜日（ただし、2月11日（月・祝）は開館し、2月12日（火）は休館）

!! [会場の神戸市立博物館の所在・交通](#)

神戸市立博物館では、平成25年2月2日（土）から4月7日（日）まで、日中国交正常化40周年を記念して、特別展「中国 王朝の至宝」を開催します。

中国最古の王朝と言われる夏（か）の時代からおよそ4000年の間、中国各地でいくつもの王朝が誕生し、特色ある豊かな文化が育まれてきました。それらは相互に影響を与えつつ展開を遂げ、世界に冠たる中国文化を形成していきました。そして、日本をはじめ近隣地域にも多大な影響をおよぼしていったのです。

今回の展覧会では、夏から宋（そう）の時代にわたる歴代の王朝の都・中心地域に焦点をあて、それぞれの地域の特質が凝縮された代表的な文物を対比しながら展示するという新たな手法によって、多元的でダイナミックに展開してきた中国文化の核心にせまります。また、2008年に発見された「阿育王塔」など日本初公開となる最新の発掘成果を含め、国宝級の「一級文物」約60%というスケールで貴重な文物を紹介します。

～今回のみどころ～ 新発見&日本初公開

2001年に発見され、現在も発掘調査が続いている金沙（きんさ）遺跡の多彩な文物や、2008年に発見され大きな話題をよんだ阿育王塔など、日本初公開の作品をふくめた最新の発掘成果をご紹介します。

一級文物 阿育王塔（あいくおうとう）

銀製・鍍金 北宋時代・大中祥符4年（1011） 高  
119cm

江蘇省南京市中華門外長干寺里宝塔頂長干寺地宮出土  
南京市博物館蔵

南京市長干寺（ちょうかんじ）から出土した仏塔です。高さ1mを超え、この種の遺品では最大です。阿育王塔の名は古代インドのアショカ王が造立した八万四千の仏塔にちなんだものですが、塔の形式は中国で考案されたものです。普通は高さが20cm内



外で、このような巨大な作例はありません。今回、中国政府の特別な計らいにより、南京市以外で初公開となりました。

### ★展覧会内容★

出品点数 約170件（会期中、展示替えはありません。）

※作品保全上の都合により、作品番号33「虎座鳳凰架鼓」の展示を差し控えました。ご了承ください。

☆☆ [出品目録](#) ☆☆

### 展覧会の構成

この展覧会は、つぎの6章から構成されています

#### 第1章 王朝の曙 「蜀」（しょく）と「夏・殷」（か・いん）

紀元前2000年頃、黄河中流域の中原に夏や殷といった初期王朝が誕生し、細緻で強靱な青銅器や玉器を作り、漢字の元となる文字をはじめて用いるなど、中国文化の礎となりました。同じ頃、長江上流域の蜀では、黄河流域と別の文化が形成されました。肥沃な土地で人の姿をした神や各種の動物を崇め、金を多用した古代蜀の文化を対比します。



#### 一級文物 金製仮面（きんせいかめん）

金製 殷～西周時代・前12～前10世紀 幅4.9cm

四川省成都市金沙遺跡出土 成都金沙遺址博物館蔵

金製の仮面です。金板を巧みに加工し、神か人の顔を表現しています。金をふんだんに使用し造形化するのは蜀文化の特徴で、青銅や玉によってもっぱら祭祀儀礼具を作り続けた中原文化と大きく異なる点です。

#### 第2章 群雄の輝き 「楚」（そ）と「斉・魯」（せい・ろ）



殷の後をうけた周の威光が薄れると、春秋戦国時代になりました。黄河下流域では、周の流れをくむ齊や魯が栄え、諸子百家といわれる様々な思想・文化が花開く一方、長江中流域では、黄河流域とは風俗言語を異にした楚が隆盛を誇りました。土着的信仰を色濃く残し、古来の神話体系を護持する南方の雄・楚と、中原の齊・魯の文化を比較しながら、豊穰な古代中国の諸相を浮き彫りにします。

### 一級文物 羽人（うじん）

木製・漆塗 戦国時代・前4世紀 総高65.6cm  
湖北省荊州市天星観2号墓出土 荊州博物館蔵

四足を折ってうづくまった動物の上に羽を広げた鳥がのり、その上に、鳥の嘴と尾羽を持った1本足の異形（いぎょう）の者が立っています。各部を木で成形し、表面に漆を塗って彩色して仕上げたものです。楚の都付近の墓から出土しており、おそらく、楚の地で崇められた何らかの神を表現したものでしょう。中原では類を見ないきわめて特異な作例であり、いまだ詳らかにされていない楚の文化の実態を示唆する珍貴な作品です。



### 一級文物 犧尊（ぎそん）

青銅製・金銀トルコ石象嵌  
戦国時代・前4～前3世紀 長48cm

山東省シ博市臨シ区商王村出土 齊国故城遺址博物館蔵  
（「シ」は「さんずい」に「鎚」のつくり）

動物をかたどった青銅容器で、背中の蓋から酒を入れて祭壇などに供えたものと考えられます。表面には、金銀やトルコ石を象嵌し精緻な文様を表わしています。当時の最先端技法を駆使した傑作です。

## 第3章 初めての統一王朝 「秦」（しん）と「漢」（かん）

紀元前221年、中国史上初の統一王朝・秦が出現しました。秦は国ごとに異なった文字や諸制度を統一、中央集権国家を実現しました。短命に終わった秦の次に中国全土を治めた漢は、秦の体制を継承しながら国家体制を整備し、統一王朝の永続的な運営基盤を築くとともに、広大な領域を支配しました。絶大な権力を背景とした秦の破格の文物と、前後400年程にわたって全土を安定的に統治した漢の様式美が結実した文物を対照します。

### 一級文物 跪射俑（きしゃよう）

陶製・彩色 秦時代・前3世紀 高121cm  
陝西省西安市臨潼区始皇帝陵兵馬俑2号坑出土  
秦始皇帝陵博物院蔵

秦の始皇帝は生前から自らが入る巨大な陵墓を造営し、そこに死後に続く永遠の安住世界を具現しようとしていました。その遺産の一つが6000体以上の兵士や馬の人形が埋められた兵馬俑坑で





す。この作品も兵馬俑の一つで、跪（ひざまず）いて弩（ど）を構える姿がきわめてリアルに表現されています。

#### 一級文物 女性俑（じょせいよう）

陶製・彩色 前漢時代・前2世紀 高62.5cm

陝西省咸陽市陽陵陪葬墓園130号墓出土

漢陽陵博物館蔵

景帝（前漢第6代皇帝）に仕えた高官の墓から発見された俑（副葬用の人形）の一つです。漢では、秦のような大型の俑は作られなくなりましたが、皇帝をはじめとする貴族階級の墳墓には必ずといってよいほど各種の俑が埋納されました。死後も生前と同様の生活を送るという当時の死生観の反映です。型を用いて基幹部を作り、細部を整形してから鮮やかに彩色をして仕上げたもので、隅々まで均整の取れた端正な姿に漢文化の様式美をうかがい知ることができます。



### 第4章 南北の拮抗 「北朝」と「南朝」

漢王朝が滅亡すると、魏・呉・蜀の三国鼎立（ていりつ）、晋による一時的統一の後、華北と華南に王朝が対峙する南北朝時代となりました。華北では、北方民族の王朝により仏教文化が隆盛し、外来と中原の文化が融合した清新な文化が勃興しました。一方、華南では漢族の王朝が文化の爛熟期を迎えました。北朝の大同（山西省大同市）、南朝の建康（江蘇省南京市）という中心地域から発見された文物に焦点を当て、南北を対比します。

#### 一級文物 天人龍虎蓮華文柱座（てんにりゅうこれんげもんちゅうざ）

（写真上・全体 下・部分）

砂石製 北魏時代・太和8年（484） 幅32.3cm

山西省大同市司馬金龍墓出土 山西博物院蔵





北魏の高官の墓から出土した石製品。蓮華が大きくかたどられた上面に円孔（えんこう）が開けられていることから、柱の台座とみられます。蓮華の周囲には、龍と虎が表現されますが、丸々として張りがある童子形の天人の造形や側面に刻出された唐草の文様などには、西方文化の影響が認められます。



### 一級文物 仙人仏像文盤口壺（せんになぶつぞうもんばんこうこ）

青磁 三国（呉）時代・3世紀 通高32.1cm

江蘇省南京市雨花台区長崗村5号墓出土 南京市博物館蔵

華南では、都の建康を中心に仏教文化が隆盛しました。この器は、表面全体に雲気や仙人を主とする神仙世界を描き、その中に外来神である仏像を浮彫風に表現する珍しい意匠です。三国時代の呉に遡るものですが、基本的な器形や文様に漢以来の伝統を踏襲しながら、新たに仏教的モチーフを採り入れているところに、南朝文化の先駆けが認められます。



## 第5章 世界帝国の出現 「唐」—長安と洛陽—

南北朝の対立を終息させた隋（ずい）の後を受け、中国全土を平定した唐には、近隣諸国はもとより、遠く地中海沿岸地域からも入貢（にゅうこう）が相継ぎ、諸外国との交易も活況をみました。都・長安には、常時1万人もの外国人が暮らし、国際色に富んだ文化が開花しました。副都・洛陽でも諸々の芸術活動や仏教や道教の造像も隆盛をきわめました。この時代の息吹を象徴する長安と洛陽という二つの都の文物を取り上げ、唐文化の特質と中国史上における意義を探ります。

### 一級文物 金剛神坐像（こんごうじんざぞう）

大理石製・彩色 唐時代・8世紀 高75cm

陝西省西安市北郊安国寺址出土 西安碑林博物館蔵





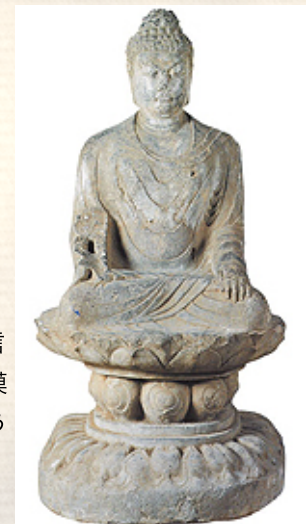
長安城の北東区域に建立された安国寺の跡から出土した大理石製の仏像。安国寺跡からは計11体の仏像が見つっていますが、それらは、他にほとんど現存していない唐時代盛期の密教系仏像の貴重な遺例として、きわめて高い価値を持っています。もとは金箔や彩色が施されていたようで、きらきらと輝く大理石の肌合いとあいまって、造立当初は、長安の絢爛とした雰囲気になびき、さぞ華やかな趣をたたえていたことでしょう。

### 仏坐像（ぶつざぞう）

石灰岩製 唐時代・8世紀 高122cm

河南省洛陽市龍門石窟伝来 龍門石窟研究院蔵

唐の副都・洛陽の郊外に造営された龍門石窟（りゅうもんせつくつ）の仏像です。龍門石窟は、5世紀末期に開かれて以来、多数の石窟と仏像が作られ、仏教信仰の聖地となりました。唐にあっても貴顕の尊崇を集め、おびただしい数の大規模な造像が行われました。石灰岩の固い岩盤に彫刻するため、この像にみられるように、線状的でやや硬い表現が認められるものの、均整がとれた破綻のない造形には、中央の造像ならではの高い洗練度がうかがわれます。



## 第6章 近世の胎動 「遼」（りょう）と「宋」（そう）

唐が滅びた後、五代十国という小国が興亡した乱世となりましたが、それを収めたのが宋王朝です。同じころ中国北部で契丹（きったん）族が遼王朝をうち建て、南の宋を圧迫するようになりました。遼は漢文化や仏教文化の影響を強く受けながら、そこに北方民族の要素を溶け合わせ、奔放で独特な文化を生み出しました。一方、宋では、書画や陶磁器に代表される深い精神性を備えた境地を切り開き、中国文化の頂点を現出しました。近世の胎動期ともいえるこの時代の南北の文物を対比し、中国文化の多様性と奥深さを眺めます。

### 銀製仮面（ぎんせいかめん）

銀製 遼時代・10～11世紀 高18cm

遼寧省阜新市出土 遼寧省博物館蔵

遼の貴族の墓の中で、墓主の顔に被せたもの。遼を建国した契丹族の顔立ちを反映したものでしょう。民族色に富んだ遼文化の典型的な作品です。





**一級文物 千仏磚（せんぶつせん）**

陶製・彩色 北宋（呉越）時代・甲戌年（974） 高  
20.1cm

浙江省台州市黄岩区靈石寺仏塔天宮出土  
台州市黄岩区博物館蔵

型作りによって複数の仏像を一つの磚（レンガ）に表わし、そこに鮮やかな彩色を施したもの。宋時代の仏教信仰の実態を物語る、たいへん稀少な遺品です。

主 催：神戸市立博物館、中国文物交流中心、NHK神戸放送局、NHKプラネット近畿、

毎日新聞社、神戸新聞社、朝日新聞社

後 援：外務省、中国国家文物局、中国大使館

協 賛：信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上、関西外国語大学、関西外国語大学孔子学院

協 力：全日本空輸、東京中国文化センター、サンテレビジョン

監 修：東京国立博物館

**★入館料（常設展も合わせてご覧いただけます。）**

	当日券	前売券 ※1	団体券(20名以上)
一 般	1,500円	1,300円	1,300円
高校・大学生	1,100円	900円	900円
小・中学生	600円	450円	450円

※1：前売券は平成25年2月1日（金）まで販売いたします。

※2：65歳以上で「神戸市すこやかカード（老人福祉手帳）」持参の方は当日一般料金が半額。

※3：障がいのある方は身体障がい者手帳・療育手帳などの提示で無料。

※4：神戸市および隣接6市1町、淡路3市、鳴門市、徳島市の小中学生は、「のびのびパスポート」の提示により無料。

## ★図録など★

展覧会開催に合わせて、2月2日より図録を発売します。

1冊 2,300円

## ★関連イベント★

### ◆記念講演会

#### ①「中国文明の謎」

日 時：2月2日（土） 14時～15時30分

講 師：松本 伸之氏（東京国立博物館学芸企画部長）

#### ②「四川古代王国と秦始皇帝陵の出土文物」

日 時：3月9日（土） 14時～15時30分

講 師：曾布川 寛氏（京都大学名誉教授）

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：各180人

※聴講無料

（ただし、「中国 王朝の至宝」展の観覧券が必要。当日13時より講堂前で入場整理券を配布）

### ◆こどもプログラム

#### ①ワークショップ「古代中国グッズを作ろう！」

日 時：2月16日（土）10時30分～12時

会 場：神戸市立博物館 考古学習室

定 員：20人（応募多数の場合は抽選）

対 象：小学4年生～中学生

参加費：500円（保護者の方は「中国 王朝の至宝」展の観覧券（団体割引適用）が必要）

申込方法：往復はがきでの事前申し込み。

締 切：2月5日（火）当日消印有効

#### ②こうべ歴史たんけん隊 —神戸の中の中国を訪ねて—

日 時：3月20日（水・祝）10時30分～15時

定 員：30人（応募多数の場合は抽選）

対 象：小学4年生～中学生

参加費：無料（保護者の方は「中国 王朝の至宝」展の観覧券（団体割引適用）が必要）

申込方法：往復はがきでの事前申し込み。

締 切：3月1日（金）当日消印有効

※保護者はオリエンテーションには参加できませんが、バスツアーには随行できません。

#### ③春休み親子鑑賞会



日 時：3月24日（日）①10時30分～12時 ②13時30分～15時

会 場：神戸市立博物館

定 員：各回100組（保護者を含む。応募多数の場合は抽選）

対 象：中学生以下の子どもとその保護者

参加費：無料（保護者の方は「中国 王朝の至宝」展の観覧券（団体割引適用）が必要）

申込方法：往復はがきでの事前申し込み。

締 切：3月8日（金）当日消印有効

### こどもプログラムの申込方法

○往復はがきに希望講座の番号と講座名、参加希望全員のこどものお名前、学校名、学年、

保護者のお名前、住所、電話番号、返信用の宛名を明記の上、郵送してください。

※③春休み親子鑑賞会は、午前の部か午後の部かを明記ください。

○1枚のはがきで3名まで申込みできます。

その場合、参加希望のこども全員のお名前をお書きください。

○1枚のはがきで複数の講座への申込みはご遠慮ください。

申込先 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地

神戸市立博物館「中国 王朝の至宝」こどもプログラム係